

次世代に誇れる郷土・岡山を 地域と歩むケーブルテレビ

岡山ネットワーク株式会社 常勤顧問

河原 聡



当社は岡山市に所在するケーブルテレビ局で、社名は岡山ネットワークですが、on i ビジョンの愛称で親しまれています。視聴者や取材先からは「オニさん」と声をかけられます。

岡山県は日照時間が長く、晴れの国と呼ばれ、桃、ブドウなどの産地としてフルーツ王国を自認しています。今年はサッカーのフアジアーノ岡山がJ1に初昇格し、ホームのJFE晴れの国スタジアムは、開幕から満席が続き、新スタジアム建設に向けた署名活動も

盛り上がっています。チームの活躍で地域経済も活性化している岡山にあつて、当社も地域の中で、きらりと光る存在でありたいと、30余人の社員がワンチームで活動が続いています。

創設は1983年、開局は放送事業をスタートさせた1993年です。2000年からインターネット接続サービスを始め、通信事業も担うようになりました。放送事業は、ケーブルテレビで、地上波テレビ(NHK、民放5局とサンテレビ)とFMラジオの再放

送や衛星放送(BS22局、CS11専門チャンネル70局)、自主制作番組(コミュニティチャンネル)コミチャン)の放送などを行っています。通信事業ではインターネットに始まり、IP電話、モバイルへとサービス分野が広がっています。放送サービスと合わせ通信の各サービスを当社でまとめることで、利用者の負担軽減につながるようなユーザー目線に立った取り組みも進めています。

この度、全国行政相談委員連合協議会様から感謝状をいただきま

した。行政相談月間の関連行事のPRや無料相談会などを当社が取材し、ニュースとしてコミチャンでオンエアしたことなどが評価されたのではと考えております。全社員にとって身に余る栄誉であり、今後の励みにしたいと思っております。



一日特設相談所の取材

当社の営業エリアは岡山市が中心で、加入は約6万8000世帯。岡山市も出資している第3セク

ターで、筆頭株主は岡山県を中心とした地元新聞社の山陽新聞社です。同社やそのグループ会社とともに地域が元気になるような放送やイベントを展開しています。今年から本格的に取り組んでいるテーマが、くらし安全、防災・減災です。

コミチャンでは、サブチャンネルを活用し、特設チャンネルを開設しました。河川、天気、交通渋滞の3部で構成し、随時画面が変わるようになっていきます。2018年の西日本豪雨では、倉敷市真備町の浸水が全国ニュースになりましたが、当社のエリアの岡山市東区平島地区などでも河川氾濫があり、被害もかなりありました。

その教訓を生かし、国土交通省、岡山県の協力も得て、河川カメラの映像をリアルタイムで放送し、増水時の避難などに役立ててもらうようにしています。今後、発生が懸念されている南海トラフを起因とした大地震に向けての対策も

視野に入れているところです。

画面では、岡山市から緊急情報が発出された場合、リアルタイムで文字化した内容が映し出されます。消防の出動状況のほか、気象警報発表に伴う避難所の開設などをつぶさに掲載するように努めています。市民のくらし安全に向け、当社でできることを検討して、関係機関の協力を得ながら実行に移しています。

【地震情報】 18時00分 気象庁発表 10月09日17時59分頃 地震がありました

岡山市 【避難所情報】 災害対策課発表 1/3

2023年01月15日 09時15分 岡山市 災害対策課発表

A公民館(開設)	09時10分	定員一杯
B公民館(開設)	09時10分	定員一杯
C公民館(開設)	09時10分	定員一杯
D公民館(開設)	09時10分	定員一杯
E公民館(開設)	09時10分	定員一杯
F公民館(開設)	09時10分	定員一杯
G公民館(開設)	09時10分	定員一杯
H公民館(開設)	09時10分	定員一杯
I公民館(開設)	09時10分	定員一杯
J公民館(開設)	09時10分	定員一杯
K公民館(開設)	09時10分	定員一杯

18:10

避難所情報】 2024年10月05日 10時17分 岡山市危機管理室発表 -- 岡山中

避難所情報

防災に力を入れているNHKとの協力では、同局が作成した防災

番組をコミチャンで随時流しています。実際に災害が発生した際の協力体制なども、当社のBCP(事業継続計画)を含めて、整えているところです。

ケーブルテレビは各家庭にケーブルをつないで、安定的にテレビを視聴していただくことから始まっています。ケーブルは近年、光ファイバーを使つての大容量の通信が可能になり、テレビだけでなくインターネットや電話にも同じ線を使つていただいています。インターネット対応型のテレビの普及で、同じ画面で放送と通信が同居する時代となり、その環境の快適さを支える役割が当社に求められるようになっていきます。動画配信サービスのユーチューブをはじめ、ダゾーン、ネットフリックスなどの動画・音声は、通信を通じて視聴可能となります。なくてはならないインフラとなっている光通信サービスは、大手キャリアなどとの競合もありますが、なお

一層の安定・充実に向け、力を注いでいきたいと思っております。

地域の活力を導くためには郷土への愛着や誇りは欠かせません。地域を発信することも当社の役割だと思っております。その中で、放送だけでなく提供地域を越えたユーチューブによる発信も手掛けるようになりました。2月に岡山市の東部にある西大寺で開催される日本三大奇祭の一つに数えられる「西大寺会陽(はだか祭り)」や、8月にJR岡山駅前通りで繰り広



夏祭り「うらじゃ」生中継

げられる桃太郎伝説に起源をもとめる踊り「うらじゃ」などの生配信にも取り組んでいます。迫力十分のライブ中継は、エリアを越えた多くの皆さんからも高評価をいただいております。

岡山県内には14のケーブルテレビ局があり、それぞれのエリアで独自の放送を展開していますが、甲子園がかかる夏の高校野球岡山大会の生中継はスクラム組んで取り組んでいます。各局のニュースや情報などを相互にやり取りし、「オール岡山」のカラーも打ち出しています。

行政相談委員の皆様の活動は、地域課題を見つけて解決を図るようにつながっていくことで、当社も地域がよりよく、誇れる郷土であり続けるために貢献できればと思っております。

ゴールは同じです。次世代に誇れる郷土・岡山を引き継ぐため、行政相談委員の皆様と心ひとつに歩んでいければと願います。